

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

同お問い合わせ先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)
公告方法	日本経済新聞

特別口座に記録された株式に関する各種手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

ホームページでもIR情報を公開しています

幅広いIR関連情報を、当社ホームページの「株主・投資家の皆様へ」で公開しています。決算短信や有価証券報告書などの適時開示資料をはじめ、決算説明会資料や統合報告書などを掲載しています。

また当社では、株主さまからのご意見・ご要望もお受けしています。ご意見・ご要望がございましたら、電話やハガキ、またはeメール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしています。

 <https://www.alfresa.com/ir/>



「アルフレッサグループ
統合報告書 2024」



アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



アルフレッサ ホールディングス株式会社

株主の みなさまへ

2025年3月期 第2四半期(中間期)報告書

(2024年4月～2024年9月)

証券コード 2784



Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresagroup

TOP MESSAGE



株主のみなさまには、平素より格別のご支援とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、アルフレッサグループの2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績は、売上高1兆4,563億円(前年同期比2.0%増)、営業利益149億95百万円(同6.3%減)、経常利益162億79百万円(同5.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益140億65百万円(同18.7%増)となりました。政策保有株式の縮減を推進する中で投資有価証券の売却により特別利益が大幅に増加したため、中間純利益は当初予想を大きく上回る結果となりました。

また、資本効率向上および株主還元の充実のため、最適資本構成を見据えた機動的な自己株式の取得を進めており、2024年3月期の350億円に続き、2025年3月期は110億円の自己株式を取得することを発表いたしました。配当については年間63円を予定しており、普通配当は21期連続の増配となります。

中長期ビジョンの事業戦略において新規事業の一つに位置づけている再生医療分野では、セルリソーシズ(株)が(国研)国立成育医療研究センター様との契約により、マスターセルの製造に必要な原料の供給を受けることが可能となりました。加えて、アルフレッサ(株)が複数の再生医療等製品の

パイプラインの開発を進めている(株)ヘリオス様と、業務提携基本契約を締結しました。これらの契約により、国内セルソースの調達から医療機関納入まで一括運用できる再生医療サプライチェーンの構築をさらに加速させてまいります。

投資においては、PMS*1・CRO*2事業を行う新会社ArkMS(アークメディカルソリューションズ)(株)を子会社化し、当社グループの新たなメンバーとしました。これにより、医薬品開発から製造、マーケティング、物流、PMS等を一貫して担う当社グループのトータルサプライチェーンの機能を強化します。また、ヘルステック*3関連の投資実績が豊富なArchetype Ventures合同会社(ATV)様が運営する投資ファンドと出資契約を結びました。ヘルステック分野におけるさらなる新規事業の開発や基盤事業の強化に貢献できると期待しています。

2025年3月期は「22-24 中期経営計画 未来への躍進～進化するヘルスケアコンソーシアム®～」の最終年度です。引き続き目標達成を目指すとともに、財務基盤の安定性、資本収益性の向上、株主還元の充実を図ってまいります。中長期ビジョンにおけるトータルサプライチェーンサービスの強化・拡大を進めることで、健康寿命の延伸とそれを支える地域医療への貢献、そしてヘルスケア・イノベーションといった社会価値創造につなげ、引き続き企業価値向上にまい進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

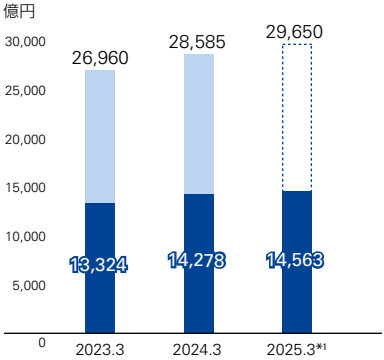
*1 PMS(Post Marketing Surveillance):医薬品や医療機器が販売された後に行われる品質、有効性および安全性の確保を図るための調査
*2 CRO(Contract Research Organization):製薬企業や研究機関が行う臨床試験に関する一連の業務を支援する専門機関
*3 医療やヘルスケアとテクノロジーを融合し、新たな価値を創造する取り組み

代表取締役社長

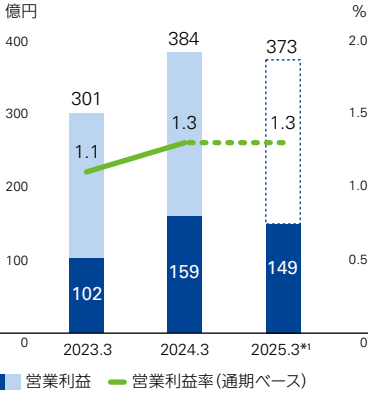
荒川隆昭

連結財務ハイライト

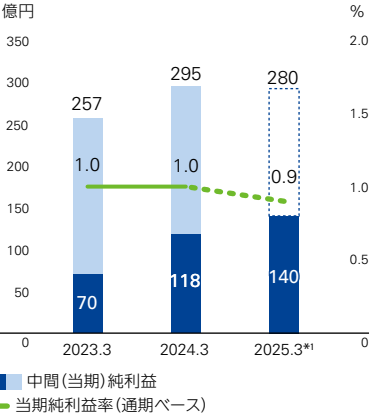
売上高



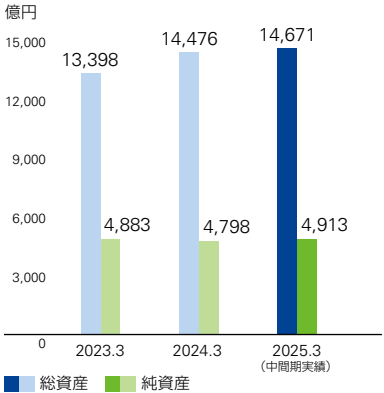
営業利益・営業利益率



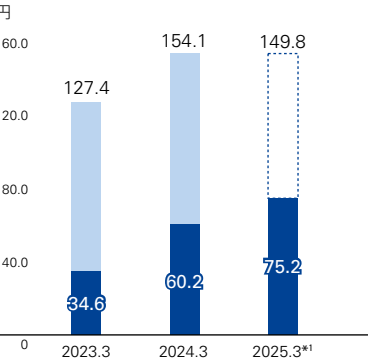
中間(当期)純利益・当期純利益率*2



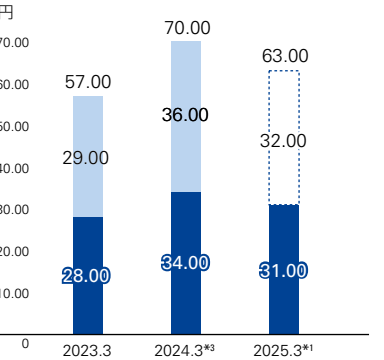
総資産・純資産



1株当たり中間(当期)純利益(EPS)



1株当たり配当金



*1 2025.3(通期)は予想値
*2 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益(率)
*3 2024年3月期における配当金は、それぞれ記念配当を含む

配当について

配当につきましては、連結業績を基準に財務体質の強化や経営基盤の安定性および将来の事業展開等を総合的に考慮し、連結純資産配当率(DOE)2.4%以上を基本方針としております。この方針に基づき、2025年3月期は中間配当金を31円といたしました。また期末配当金は32円を予定しており、年間配当金は合計63円を予定しております。

「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

<再生医療>

02 再生医療における トータルサプライチェーンサービス実現に向けた取り組み

再生医療事業を行うセルリソーシズ(株)が、再生医療等製品の中間製品(マスターセル)の提供事業と自家^{*1}・他家^{*2}型の細胞加工物の製造事業を進めています。

マスターセルの提供事業においては、2024年4月に締結した(国研)国立成育医療研究センター様との「商用利用可能なヒト(同種)体性幹細胞原料^{*3}の供給に関する契約」により、マスターセルの製造に必要となるヒト(同種)体性幹細胞原料である胎盤、羊膜、および臍帯などの胎児付属物の供給を受けることが可能になりました。

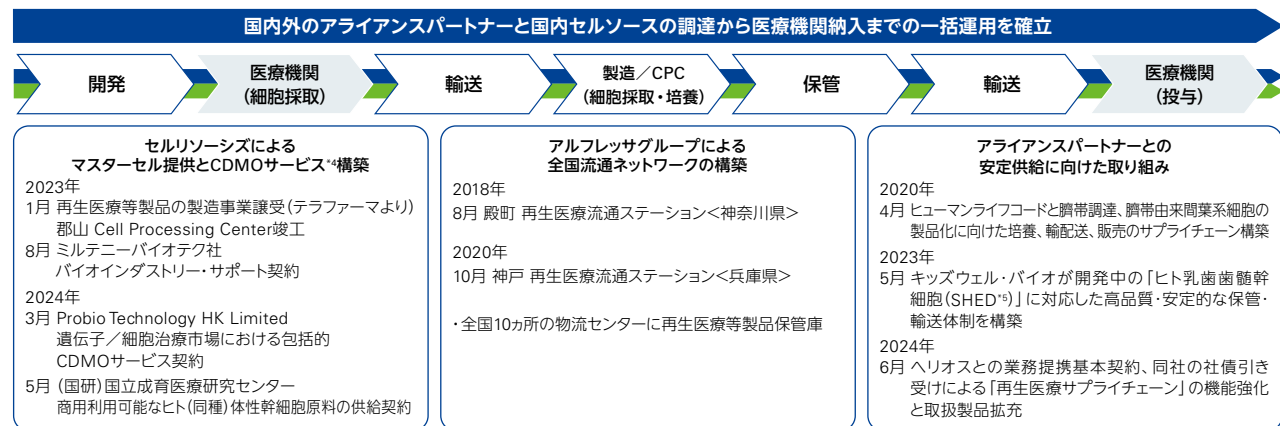
一方で再生医療等製品の輸送・保管領域においては、全国流通ネットワークを構築するとともに、安定供給に向けた

体制構築を進めています。アルフレッサ(株)は2024年6月、幹細胞技術を活用した「体性幹細胞再生医薬品」および「iPSC再生医薬品」分野において複数のパイプラインの開発を進めている(株)ヘリオス様と、同社が取り扱う製品に関する業務提携基本契約および同社が発行する普通社債を引き受ける契約を締結しました。これにより、アルフレッサグループの「再生医療サプライチェーン」における輸送・保管の機能強化と取扱製品の拡充を進めています。

*1 患者本人の細胞

*2 健康な細胞提供者から採取した細胞

*3 再生医療等製品の原料として利用可能なヒト(同種)細胞または組織



(注)年月は発表時期

*4 CDMO(Contract Development and Manufacturing Organization)サービス:医薬品の製造工程の開発から、治験薬や商用製造までを受託するサービス

*5 SHED(Stem cells from Human Exfoliated Deciduous teeth):ヒト乳歯歯髄幹細胞。乳歯内部の歯髄組織から採れる幹細胞で、骨や神経などに分化する能力を有する。ドナーが若く細胞年齢も若いため、他の組織由来の幹細胞と比較して増殖能が高い。また、各種成長因子(特に神経栄養因子)の分泌能が高い



<ヘルステック>

03 プロダクト・サービスを活用した 「つなぐ活動」でサステナブルな社会へ

アルフレッサグループは、医療機関、薬局、製薬企業、協力会社等と、患者様の医療アクセスの向上をはじめ、医療機関の経営効率化、医療従事者の働き方改革、医師同士をつなぐコミュニケーション、製薬企業のMRへ貢献するプロダクト・サービスを活用したソリューションを提供しています。

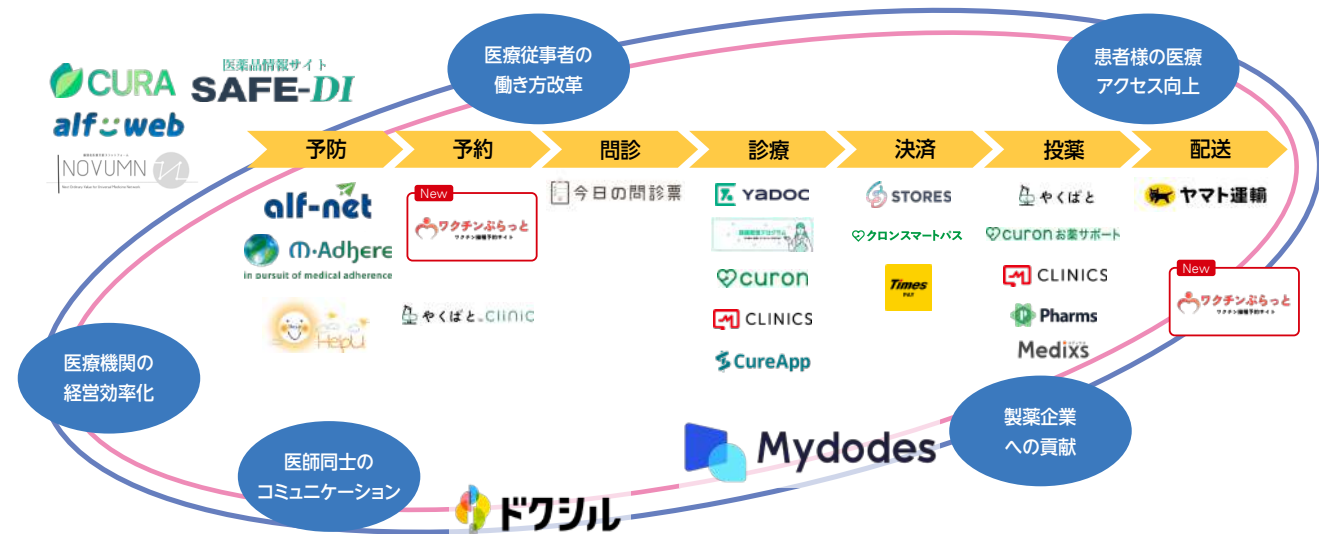
2024年9月、アルフレッサ(株)が、医療機関別接種予約システムやエリア別需要管理システム等の機能を備えた「ワクチン供給最適化プラットフォーム(ワクチンぱらっと)」を発表しました。これにより、医療機関における予約管理の負担軽減、接種希望者の利便性向上、および接種希望者への

ワクチン接種機会の提供につなげ、病気にかからないようにするための予防医療に貢献していきます。

また、当社は2024年10月にヘルステック関連の投資実績が豊富なArchetype Ventures合同会社(ATV)様が運営するArchetype Ventures 3号投資事業有限責任組合様と出資契約を締結しました。本ファンドは、B2B領域のスタートアップ企業への投資・支援に特化したベンチャーキャピタルです。今回の締結により、プロダクト・サービスの活用による新規事業開発や基盤事業の強化を加速していきます。



アルフレッサグループのプロダクト・サービス



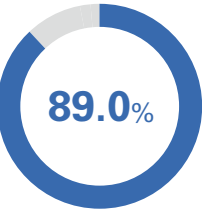
第2四半期(中間期)の事業別業績

連結売上高 **1兆4,563億円** (前年同期比2.0%増)

連結営業利益 **149億円** (前年同期比6.3%減)

医療用医薬品等
卸売事業

売上高構成比率



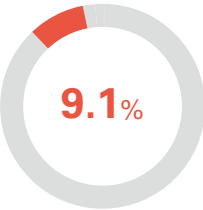
売上高
1兆2,965億円
(前年同期比2.3%増 ▲)

営業利益
126億円
(前年同期比8.2%減 ▼)

2024年4月に実施された薬価改定によるマイナス影響はあったものの、市場の伸長、中でも特許品・新薬創出加算品等の販売増加により増収となりました。また、売上総利益率改善の取り組みの一方で、人件費、物流費および減価償却費等のコスト増により、売上高1兆2,965億円(前年同期は1兆2,671億円)、営業利益126億円(同137億円)となりました。

セルフメディケーション
卸売事業

売上高構成比率



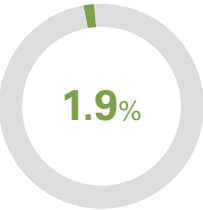
売上高
1,323億円
(前年同期比0.7%減 ▼)

営業利益
17億円
(前年同期比17.7%増 ▲)

インバウンド需要回復による安定した市場成長も市場環境の激化によって減収であった一方で、適正価格での販売に取り組み売上総利益は増益となりました。また、物流費を含む人件費等の上昇はあるもののコストコントロールに注力したこと等により、売上高1,323億円(前年同期は1,333億円)、営業利益17億円(同14億円)となりました。

医薬品等
製造事業

売上高構成比率



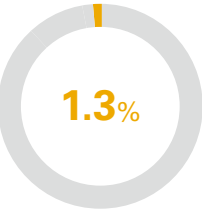
売上高
270億円
(前年同期比3.8%増 ▲)

営業利益
1億円
(前年同期比0.9%増 ▲)

2024年4月に実施された薬価改定によるマイナス影響があったものの、原薬および受託製造ならびに医療機器の売上伸長に加えて販管費抑制に取り組んだこと等により、売上高270億円(前年同期は260億円)、営業利益1億円(同1億円)となりました。

医療
関連事業

売上高構成比率



売上高
183億円
(前年同期比1.0%増 ▲)

営業利益
2億円
(前年同期比11.0%減 ▼)

市場伸長の影響等により、売上高は183億円(前年同期は181億円)となりました。営業利益につきましては、薬価改定によるマイナス影響や仕入原価上昇などの影響があったものの販管費抑制に取り組み、2億円(同2億円)となりました。

「事業モデルの強化」と「新たな価値の創造」

<PMS事業>

01 トータルサプライチェーンサービスの強化と拡大
～臨床試験、承認申請、およびPMSの機能強化～

アルフレッサグループは、2033年3月期までの中長期的な事業戦略および財務・資本戦略である「アルフレッサグループ中長期ビジョン」を策定し、トータルサプライチェーンサービスの強化と拡大による事業ポートフォリオの拡大と変革を推進しています。

当社は、国内のMR^{*1}数が減少傾向にある中で製薬企業によるPMS事業の外部委託が今後も増加することを想定し、「アルフレッサグループ中長期ビジョン」における事業戦略においてPMS事業を成長事業の一つに位置づけており、2024年9月、(株)インテージヘルスケア様が行うPMS・CRO事業に係る会社分割により設立された新会社ArkMS(株)の全株式を取得し、当社の子会社としました。

取得したPMS・CRO事業は、当社グループが有する医療機関および製薬企業等のお取引先との強固な信頼関係を基に事業拡大が期待できることや、PMS・CROに関するリソースやノウハウが、当社グループのトータルサプライチェーンにおける臨床試験、承認申請、およびPMSの機能強化に大きく貢献するものと考えています。既にアルフレッサファーマ(株)で取り組んでいる製薬企業としてのPMSのノウハウを活かしつつ、広範囲なエリアをカバーする医療用医薬品等卸売事業が事業セグメントを超えたシナジーを発揮することで、当該事業の拡大を図っていきます。

^{*1} MR (Medical Representative): 医師や薬剤師に医薬品の情報の提供、収集、伝達を行う製薬企業の医薬情報担当者



^{*2} CMO (Contract Manufacturing Organization): 医薬品製造受託企業

＜医療周辺事業＞

04 医療周辺領域における新規事業開発
～動物医療市場への進出に向けて～

アルフレッサグループは中長期ビジョンにおいて、新規事業の一つとして医療周辺事業（ビューティ、アニマル）を掲げています。

2022年に当社およびアルフレッサ（株）は、動物医療市場への進出に向け、森久保CAメディカル（株）様と業務提携契約を締結し、小動物医療の領域における共同での事業展開について検討を進めてきました。そして2024年5月、当社と

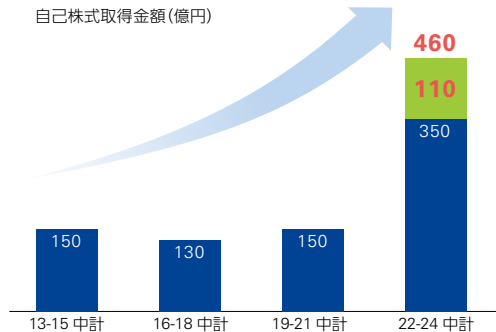
森久保CAメディカル（株）様は、より強固な関係を構築するために資本提携を締結しました。現在、アルフレッサ（株）および森久保CAメディカル（株）様において、両社の持つブランド力、医薬品等の販売・物流のネットワークやノウハウなどの経営資源を有効活用し、小動物医療の領域における商材の流通効率化および新規事業の検討を進めています。

財務・資本戦略

05 株主還元強化
（自己株式取得）

当社は、最適資本構成を見据え、自己株式を機動的に取得する方針です。「22-24 中期経営計画」期間における3ヵ年累計総還元性向100%の計画のもと、資本効率向上および株主還元の充実のため、2024年3月期の350億円に続き、2025年3月期は110億円の自己株式を取得することを 2024年11月に発表しました。

自己株式取得金額（億円）

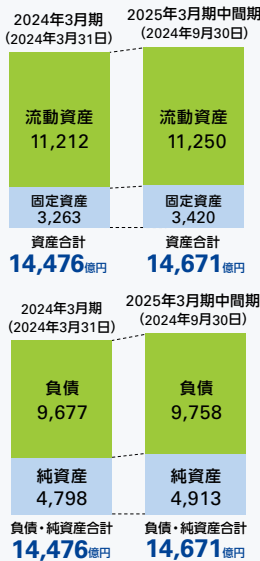


TOPICS

第2四半期（中間期）連結財務諸表（概要）

中間連結貸借対照表

単位：億円

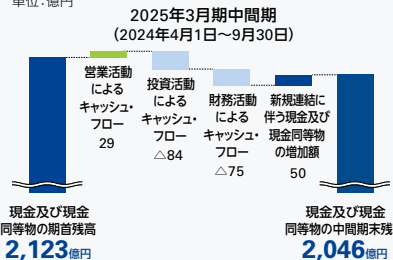


POINT 資産			
資産は2024年3月期末と比較して、195億円の増加となりました。			
流動資産：+38億円		固定資産：+156億円	
現金及び預金	△69億円	有形固定資産	+17億円
受取手形及び預金	+60億円	投資その他の資産	+141億円
棚卸資産	+85億円		

POINT 負債・純資産			
負債は2024年3月期末と比較して、80億円の増加となりました。		純資産は2024年3月期末と比較して、114億円の増加となり、自己資本比率は33.5%となりました。	
流動負債：+66億円		純資産：+114億円	
支払手形及び買掛金	+65億円	利益剰余金	+71億円
固定負債：+14億円		その他有価証券評価差額金	+40億円

中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円



POINT キャッシュ・フロー計算書			
現金及び現金同等物は、中間期累計期間において76億円の減少となりました。			
営業活動によるキャッシュ・フロー：29億円の収入		投資活動によるキャッシュ・フロー：84億円の支出	
税金等調整前中間純利益	+206億円	有形固定資産の取得による支出	△78億円
減価償却費	+71億円	無形固定資産の取得による支出	△16億円
売上債権の増加	△53億円	投資有価証券の取得による支出	△48億円
財務活動によるキャッシュ・フロー：75億円の支出		投資有価証券の売却による収入	+59億円
配当金の支払	△67億円		

中間連結損益計算書および通期業績予想

単位：億円

科目	2024年3月期中間期 (2023年4月1日～9月30日)	2025年3月期中間期 (2024年4月1日～9月30日)	増減額	通期予想
売上高	14,278	14,563	284	29,650
売上総利益	992	1,023	30	2,136
販売費及び一般管理費	832	873	40	1,763
営業利益	159	149	△10	373
経常利益	172	162	△10	400
中間(当期)純利益*	118	140	22	280

* 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

株式の状況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	202,840,000株
株主数	15,638名

大株主

順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	28,547	15.3
2	アルフレッサ ホールディングス株式会社	15,522	—
3	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	10,093	5.4
4	株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	7,979	4.3
5	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,483	2.9
6	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	4,963	2.7
7	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	4,359	2.3
8	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	4,232	2.3
9	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,908	2.1
10	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	2,976	1.6

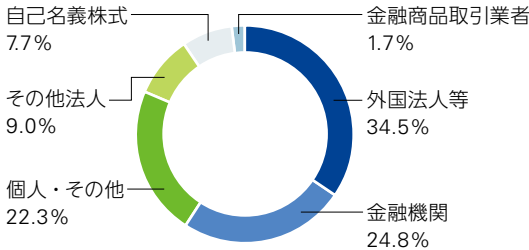
IRメール配信サービスのご案内

IRニュースのメール配信サービスを行っています。決算短信などの適時開示資料、株主総会情報、統合報告書や報告書「株主のみなさまへ」などのIR資料が当社ホームページに掲載された際、ご登録いただいたメールアドレスにお知らせしています。ぜひご利用ください。

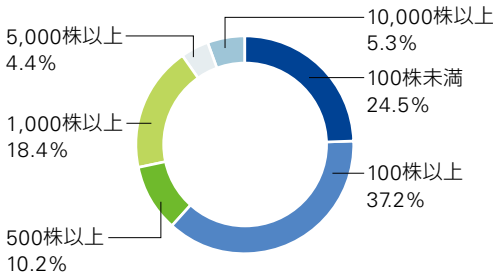
<https://www.alfresa.com/ir/mail/>



所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



会社名	アルフレッサ ホールディングス株式会社 (Alfresa Holdings Corporation)
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号
従業員数	15,655名 (連結) *パート・派遣社員数 (年間平均人数3,027名) を含む
設立年月日	2003年9月29日
事業の内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具の卸販売、製造販売、輸出入等ならびに調剤薬局の経営とこれらに附帯する事業を行う子会社の管理等
資本金	18,454百万円

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業
● アルフレッサ株式会社
● 四国アルフレッサ株式会社
● ティーエスアルフレッサ株式会社
● 明祥株式会社
● 株式会社琉葉
● 東北アルフレッサ株式会社
● アルフレッサ メディカルサービス株式会社
● アルフレッサ篠原化学株式会社
● エーエル プラス株式会社
● エス・エム・ディ株式会社

取締役および監査役	
代表取締役社長	荒川 隆治
代表取締役副社長	岸田 誠一
代表取締役副社長	福神 雄介
取締役常務執行役員	大橋 茂樹
取締役常務執行役員	田中 敏樹
取締役	勝木 尚
取締役	島田 浩一
取締役 (社外取締役)	原 大
取締役 (社外取締役)	木下 学
取締役 (社外取締役)	竹内 淑恵
取締役 (社外取締役)	國政 貴美子
常勤監査役	尾崎 正和
常勤監査役	上田 裕治
監査役 (社外監査役)	加藤 善孝
監査役 (社外監査役)	伊東 卓
監査役 (社外監査役)	木崎 博

セルフメディケーション卸売事業
● アルフレッサ ヘルスケア株式会社
医薬品等製造事業
● アルフレッサ ファーマ株式会社
● 青島耐絲克医材有限公司
● アルフレッサ ファインケミカル株式会社
医療関連事業
● アポクリート株式会社
情報システムの運用・保守および開発事業
● アルフレッサ システム株式会社